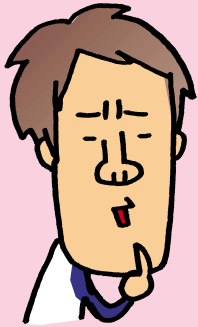


聴講の迷い方

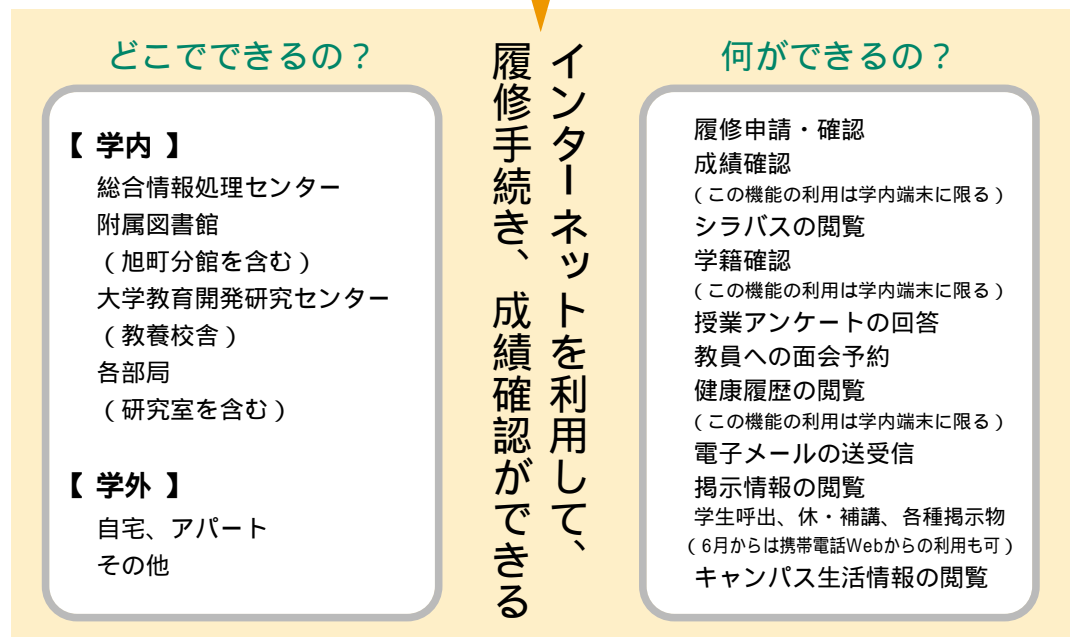
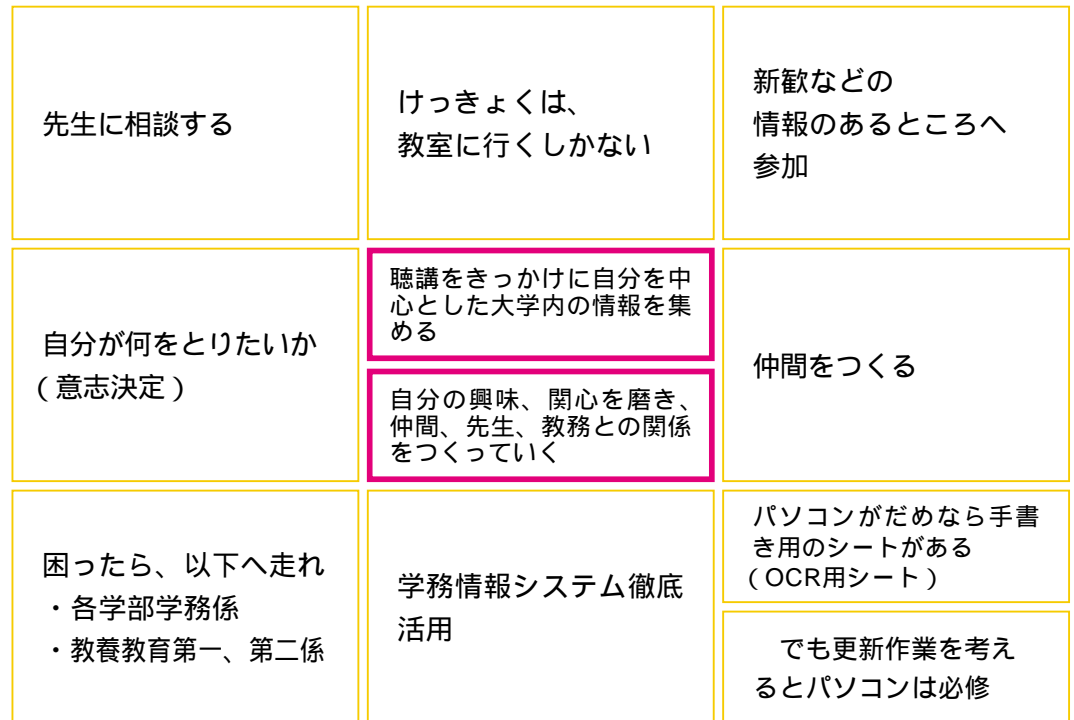


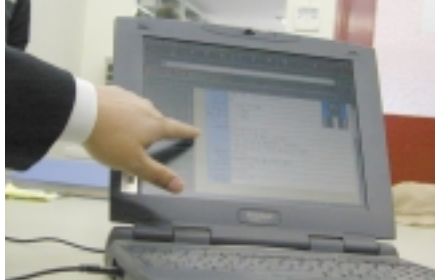
4月×日

大学の授業ってあたりまえだけど、高校とは違うんだ。決まった教室に行って先生が入ってきてというような授業じゃないんだね。聴講を取らなきゃならないみたいだ。

でも、聴講ってなに？どうやって授業を受ければいいの？

何といってもこれを聴講したいという意志決定をしないとね！

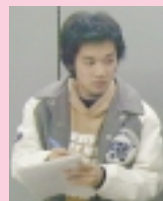




学生編集委員は、教務課、神田さんよりていねいに説明をもらった。

私の履修の体験談

谷 謙治さん
教育人間科学部
3年



自分の授業での履修の体験談を踏まえてアドバイスをしておく、と、まず、1限に授業をとるのは、かなりの覚悟がいるということを知っていてほしい。特に月曜の1限ともいうことになると、休みあけということもあって、行く気をなくす。また、木曜、金曜の午後は取れる教養の授業が少ないこともあってあまりお勧めはしない。金曜の午後に休みにすると、そこから二日と半日やすみになることになるので結構得した気分になれる。それから、聴講をとるときに抽選などではずれてしまい思うように授業がとれないこともあるだろう。そんなときのために第二、第三の取りたい授業をあらかじめ考えておくのもいい。また、そんなときにもあきらめずに先生に話してみるのも一つの手だ。自分の熱意が通じれば意外に履修を受け付けてくれることも多い。

そして、テストのみで評価という授業もあるが、これは少々リスクが高い。ただ、最後に一回出てテストを受けるだけで単位が取れるというおいしいこともありうる。ここは、各自の判断だろう。文系の人は苦手でも自然科学系の授業はちゃんととっておこう。最後に語学の話をしておくと、語学というのは必修単位でかならずとらなければならない。しかし、その分、出席重視となっている。英語が苦手とか言う人もあきらめずに出席はしておこう。出席していれば、何とかなるものだ。ちなみに私は語学を一年のときに落とし、二年で痛い目を見た一人だ。

注目！ の履修申請

1) 授業担当教員に当該学期の聴講科目の許可申請を行う



(聴講許可申請の詳細情報画面)

まずは、何といたってこれを聴講したいという意志決定をしていないと何にもならない。このシステムを使ってシラバスの閲覧もできるが、だいたいシラバスは電話帳のような厚さがあるものだったのだ。ただ閲覧していても何もならない。情報収集が必要だ。自分の興味に照らし合わせてシラバスをざっと閲覧しよう。これには、もしかしたら、厚いシラバスの本の方がいいかもしれない。そして、先輩、友人からの情報だ。サークルなどの新歓行事は、その情報集めにうってつけ。

許可申請期間 第一期 4月5日～4月15日
第二期 9月17日～10月7日

2) 4月17日から5月7日の間に許可確認と、変更を行う



(聴講許可結果の画面)

許可確認は、申請してもすぐにはわからない。第一学期の許可確認ができるのは、4月17日から。ここからがたいへんだ。申請は誰でもできる。人気の講義は、落ちる可能性がある。一週間のコマ数は少ない。ここで第二、第三の取りたい講義を決めていないとどうなるだろうか。

許可確認が終わったら、変更を行う。満席になった講義以外は、変更申請すれば自動的に許可となる。そして気をつけなくてはならないのは、満席になった講義にも他の学生が取り消しを行って空きができることもある。ここはチェックをマメにしておきたい。

許可確認期間 第一期 4月17日～5月7日
第二期 10月9日～10月29日

3) やはり教室で、情報収集。そして人に相談しよう

どうだろう、インターネットを利用した履修申請をただ見ていると、ここで完結してしまいそうな気がしてしまうが、実はそうでもない。やはり聴講したい講義には、一回目から出なければならないし、聴講許可などの基準は先生に任されている。この講義を受けたいと思ったら、教室での情報収集は欠かせないのだ。また、先生への面会予約も学務情報システムの中にあるが、これも先生の設定によってできたりできなかったりするようなので、注意。そして、困ったら、各学部学務係、教養教育第一、第二係へ走ろう。